

市への愛着をもち、将来に夢と希望のもてるまちづくりをめざして

南あわじ市市民憲章、 市の花・木、市民音頭を制定

2/14日

10:00~12:00
三原公民館



南あわじ市市民憲章

南あわじ市は、もとの三原郡域を引きつぎ、野の幸、山の幸、海の幸に恵まれています。また、国生み神話に彩られた歴史をもち、薫り高い伝統文化がはぐくまれてきました。わたしたち市民は、花と緑と青い海、きれいな空気を大切に、夢と希望の実現に向かって努めることを誓い、この憲章を定めます。

- ・人と郷土を愛し、未来を見つめて力強く生きる若い世代を育てます。
- ・周りの人を思いやり、お互いを認め合って、共に生きてゆく喜びをめざします。
- ・恵まれた豊かな自然を生かし、美しい景観や環境をまもりまします。
- ・歴史遺産や伝統文化を大切に、誇りをもって次の世代に伝えていきます。
- ・仕事に夢と情熱をもち、創意工夫して産業の新しい発展につとめます。

平成 22 年 1 月 11 日 制定

◎市制5周年記念「市民のつどい」

～市民憲章、市の花・木、市民音頭発表会～
市市長公室 ☎43-5002

◎食フェアを同時開催!!

10:00~16:00、南あわじ市役所三原庁舎駐車場にて市制5周年記念事業として『食フェア』が開催されます。農林水産物の販売、バザーの営業、もちつき、抽選会など…

農林振興課 ☎43-5025

市の花 日本水仙

市制5周年を記念して、市議会定例会において、南あわじ市市民憲章、市の花・木の条例案が原案どおり可決承認され、平成22年1月11日制定されました。

『続三原郡史』
郡史の拾い読み 知っておきたい…

地名の由来

その8

八木と養宜

(やぎとようぎ)

やなぎ(柳)の略?

「和名抄」に三原郡養宜郷があり、「夜木」と訓注されている。「淡路国大田文」には養宜郷はなく、「八木村」が記載されている。天平十年(738)の「淡路国正税長」に淡路の国司安曇宿禰虫麻呂の名があり、安曇氏の同族に八木の造という氏族もあるが、八木村との地名の関係はわからない。養宜は「やぎ」と読んでいたが、中世になって書き易く、「米」を意味する「八木」と表記されたのである。明治十年、上八木村、入田村、中八木村が合併して養宜村となった。明治二十二年、養宜村、笑原村、天野村が合併して八木村が発足した。そこで、八木と養宜を区別するために養宜を「ようぎ」と読むようになったと考える。史

跡「養宜館」は「やぎやかた」と読むべきである。「和名抄」に八木郷、養宜郷、近江、但馬、上野、淡路があり、また、八木、矢木という地名は、全国に十か所もある。語源として、諸説があるが、(1)「やなぎ(柳)」の略で、柳の木の生えている所という意味。(2)古代に朝廷に仕えて、矢を作ることを業とした矢作部の居住地という説にやや可能性がある。

第7編 各説 地名の改変
三原郡の大字名と冠称の由来から抜粋

語り継いでいきたい郡史!
すばらしい郷土の誇りを次世代へ…

市内書店にて好評販売中!
『続三原郡史』

編集事務局
市長公室 ☎43・50002

広報南あわじ 2010.2.1 No.61 編集発行：南あわじ市総務部情報課 〒656-0472 兵庫県南あわじ市市善光寺18番地27 TEL(0799)43-5003 FAX(0799)43-5103 URL:http://www.city.minamiiwajji.hyogo.jp/ E-mail:kouhou@city.minamiiwajji.hyogo.jp